

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	9	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	---	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	常磐線の利便性向上	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課		
	③事業主体	○市 ●その他（松戸市・柏市・我孫子市・取手市）		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人（換算人数）		0.35人			
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円	当該（開始）年度	（当初）	3,610千円	（うち人件費）	3,115千円		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			事業目的	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR常磐線の輸送力の強化と利便性の向上を図る。				
(3) 事業内容	内容	千葉県・松戸市・柏市・取手市と連携しながら、JR東日本に対して、常磐線の「特別快速」の我孫子駅停車の実現、停車が困難な場合には、平成18年3月のダイヤ改正により減便された快速電車の本数復元、常磐線直通上野東京ラインの本数拡大など、常磐線の利便性向上に関する要望を行う。			当該年度執行計画	JR東日本への要望活動 ・5月 JR東京支社長との意見交換会（常磐線直通上野東京ラインの本数拡大要望と情報交換） ・7月 成田線活性化推進協議会での要望（常磐線直通上野東京ラインの本数拡大と特別快速の我孫子駅停車の要望） ・8月 千葉県JR線複線化等促進期成同盟（常磐線対策部会・成田線我孫子方対策部会）での要望 ・上記以外 松戸市・柏市・取手市とともに常磐線の利便化について、随時要望活動を展開				
		当該年度活動結果指標	JR東日本への働きかけ回数		単位	回	想定値	5		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該（開始）年度	通勤・通学者の利便性向上を図る。			直接	要望内容の達成率		%	0	100	
3年後	通勤・通学者の利便性向上が図られている。			直接	要望内容の達成率		%	0	100	
最終（概ね5年後）	通勤・通学者の利便性向上が図られている。			直接	要望内容の達成率		%	0	100	
(7) 事業実施上の課題と対応	常磐線の利便性向上のため、実施主体であるJR東日本に対し、粘り強く要望していく。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			JR東日本への働きかけ	0		JR東日本への働きかけ	0		JR東日本への働きかけ	0
						JR東日本への働きかけ * 常磐線開駅120周年記念グッズ * 記念クリアファイル * 記念ポスター・横断幕 * 記念オリジナルテープ	162 184 149			
		予算(済)額	合計	0	合計	495	合計	0	合計	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		0		495		0		0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.35		0.35		0.2		0	
	正職員人件費		3,185		3,115		1,780		0	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,185		3,610		1,780		0	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	637千円/回		722千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
	つくばエクスプレスの開業により、特別快速が新設運行されたが、我孫子駅・天王台駅には停車していない。また、快速電車の運行本数が削減されている状況にある。また、「上野東京ライン」の開業により、東京駅・品川駅に乗り入れが実現した常磐線の本数がさらに拡大されるよう、JR東日本に対し強く要望する必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし							参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容	
	○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している ○⑤その他  <その他の内容>			公共交通機関の利用を促進することにより、自動車と比較した利用者一人あたりの二酸化炭素の排出量やエネルギーの使用量を減少させ、地球温暖化対策に役立てる。				環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	0	100	○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である				実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 ○③維持管理費の削減策の実施 ○④民間委託 ○⑤PFI等民間資本の活用 ○⑥受益者負担 ○⑦その他				実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>
	事業費削減率(%)		<削減の内容>				<超過理由等>		
△13.34									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下
	2.77	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100
		%	10万円						

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	1840	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	手賀沼・手賀川活用推進協議会	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	○市 <input checked="" type="checkbox"/> その他（柏市・印西市・我孫子市）		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	平成27年度～		⑥担当職員数	5人（換算人数） 0.85人					
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円	当該（開始）年度	（当初）	8,065千円（うち人件費 7,565千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者国土交通省利根川下流河川事務所、千葉県東葛飾地域振興事務所・印旛地域振興事務所・柏土木事務所・印旛土木事務所、柏市・印西市・我孫子市で構成する「手賀沼・手賀川活用推進協議会」において、手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑などの資源を活用した施策の検討を行う。事業実施にあたっては、実行していくための組織「手賀スタイル構想委員会」を設立し、社会実験に向けた計画作成など準備を進める。また、協議会では事業の進行管理を行っている。			事業目的	手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑などの資源を活用したまちづくりを推進し、地域の魅力向上を図る。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	4月～3月：手賀スタイル構想準備委員会・小会議の開催 5月・11月：手賀沼・手賀川活用推進協議会・幹事会の開催				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標	単位	回	想定値	実績値
当該（開始）年度	手賀沼・手賀川を活用した観光振興や交流人口の拡大を目的とした事業展開を行うため、社会実験に向けた準備を進める。			直接	社会実験に向けた計画作成の進捗率	%			0	100
3年後	民間資本を活用した観光振興や商業振興等の事業が展開されている。			間接	市民満足度調査（満足と回答した人の割合）	%			0	70
最終（概ね5年後）	民間資本を活用した観光振興や商業振興等の事業が展開されている。			間接	市民満足度調査（満足と回答した人の割合）	%			0	100
(7) 事業実施上の課題と対応	実行組織の設立に民間事業者を主体としていくためには、市民をはじめ、NPO法人や民間事業者等と丁寧な意見交換を行いながら調整し、進めていく必要がある。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	実績値(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		事業の進行管理	0	事業の進行管理	0		事業の進行管理	0	事業の進行管理	0
		新規事業の検討	0	新規事業の検討	0		新規事業の検討	0	新規事業の検討	0
		既存事業の見直し等	0	既存事業の見直し等	0		既存事業の見直し等	0	既存事業の見直し等	0
手賀沼・手賀川活用推進協議会負担金	100	手賀沼・手賀川活用推進協議会負担金	500		手賀沼・手賀川活用推進協議会負担金	4,000	手賀沼・手賀川活用推進協議会負担金	0		
・実証実験結果に基づく事業の本格実施		・社会実験の実施に向けた検討	0		・社会実験の実施に向けた検討					
予算（済）額	合計		合計		合計		合計		0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		100		500		4,000		0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.7		0.85		0.55		0	
	正職員人件費		6,370		7,565		4,895		0	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		6,470		8,065		8,895		0	
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標		1,078.33千円/回		620.38千円/回					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
	手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑の空間とこの地域に所在する様々な資源を活用し、地域の魅力向上や交流人口の拡大、地域産業の活性化を図る広域的なまちづくりをさらに推進していく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由)		<その他の内容>		①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>			
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		様々な事業展開が考えられ、民間事業者・市民団体・ボランティア等の参画が不可欠であるため、手賀スタイル構想委員会には、民間事業者や市民団体等の参画を予定している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	■①自然環境を生かしている ■②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他		手賀沼・手賀川やその周辺の自然環境に充分配慮しながら、様々な事業の検討を行い、進めていく。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	8,065	△1,595	<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要	
	1.24		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	(h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2099), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2136), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2016, 2017, 2018, 2019, and 2020.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, and (6) 事業費削減の工夫.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for 評価 (現状どおり推進, 拡充, etc.) and 評価コメント.

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (2165), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2169), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and environment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).